

学位被授与者氏名	桑山 隼人 (くわやま はやと)
論文題目	若年者における統制の位置と自尊感情の関係について
論文審査結果の要旨	<p>これまでの研究では、自尊心は個人内の属性として静的にとらえられたり、社会環境から影響を受けるものとして論じられたりすることが多かったのに対して、この研究では、自尊心が対人関係の構築に影響を与えるものととらえているところが大きな特徴である。自尊心は高い方が良く、精神的健康にも貢献するという見方が一般的であるのに対して、本研究の結果では、あまり高い自尊心を持った人物は対人関係の構築に有利ではなかった。この事実は、日本の文化において控えめな奥ゆかしさを尊ぶことにも沿っていることに加えて、自尊心を抑制した個人はますます高自尊心者への評価を下げるようになるとすれば、社会全体で自尊心が低下していくという負のスパイラルが生じる可能性もあり興味深い研究結果である。</p> <p>全体として修士論文として十分な研究成果であると認めることができる。</p> <p>平成 29 年 2 月 17 日に、北九州市立大学北方キャンパス 4 号館 4-301 教室において、審査委員全員出席のもとで最終試験を実施して学力を確認し、論文の説明を受け、質疑応答ののちに、全員一致で当該論文が修士(人間関係学)として十分な内容であると判定した。</p>